

施策方向 - 5 . 良好な施設の保全と機能向上

重点施策

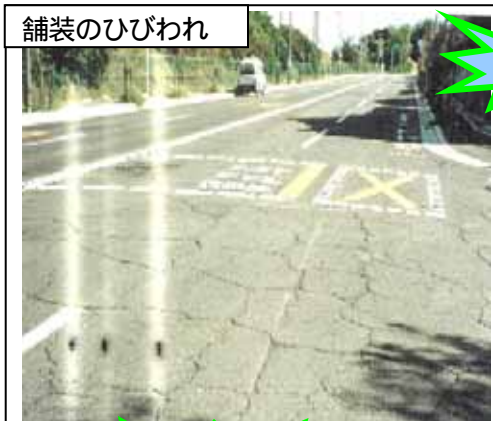
1) 総合的な維持管理

ライフサイクルコストの縮減


計画的な資産管理(アセットマネジメント)に基づく計画的・効率的な維持管理の導入を検討するとともに、計画段階から維持管理に配慮した設計に取り組みます。

アセットマネジメント例


舗装のひびわれ



従来




大規模な工事で一度に多額なコストが生じる




通行規制が長期間にわたり、渋滞などの影響が大きい

これからは、このような状態になる前に

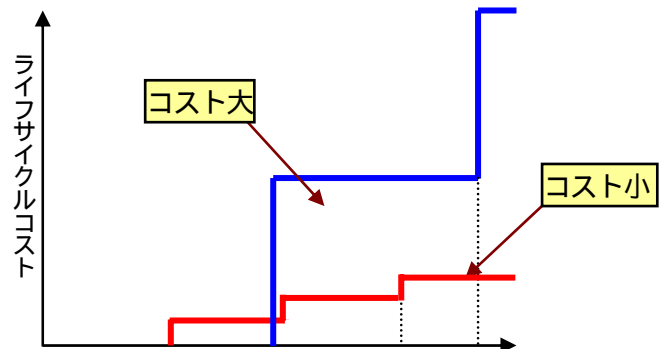
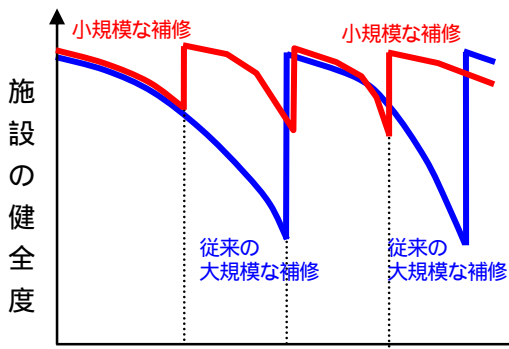


適切な工事をきめ細やかに実施。コストが少なくなる



通行規制が短期間で済み、渋滞などの影響が小さい

今後は、計画的、効率的な資産管理に基づくきめ細やかな補修によりコストを抑制します。



ライフサイクルコスト = (維持補修費 + 社会的影響)

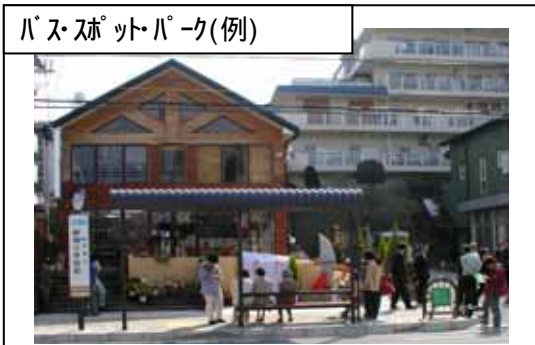
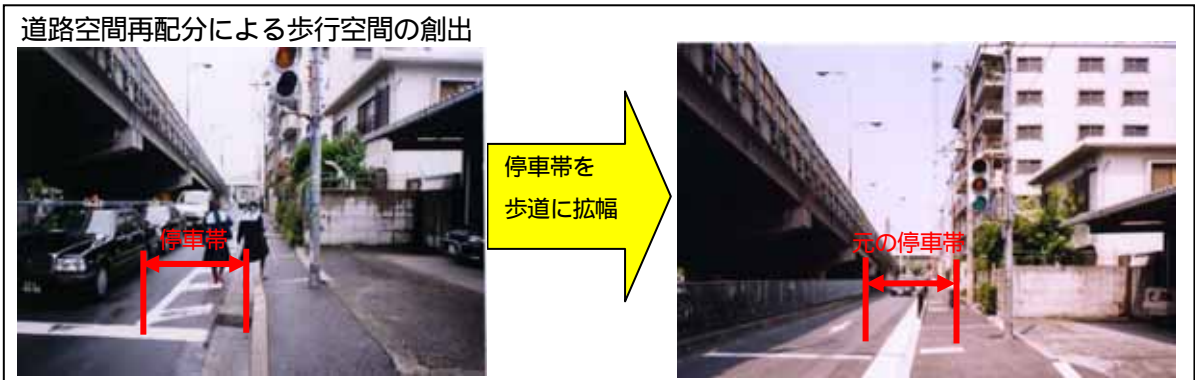
ITの活用による維持管理の効率化

道路施設を常に良好に維持するため、維持管理業務をデータベース化し、日常的・定期的な点検を実施するなど、効率化を図ります。



2) 既存施設の機能向上

既存施設の機能を向上させるため、道路空間を再配分し、歩行空間や自転車走行ルートへの創出を図るとともに、バス停などにおける憩い・コミュニティ空間(バス・スポット・パーク)の形成を図ります。



成果指標

道路施設の適正な保全により、将来にわたって安全で安心に通行・利用できるようにします。

【参考】

